

お客様各位

三菱電機株式会社

油入コンデンサ PCB混入の可能性について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は弊社製品をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

三菱電機製油入コンデンサのPCB混入の可能性に関しまして、弊社見解を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 高濃度 PCB を含む不燃性油を使用した形名（注1）

製造年	1955年～1972年
銘板に記載の情報、形名等	KL-1、KL-2、KL-3、KUF、KAF、KBF、KEF、KUP、KAP、KBP、KEP、KTP、KAL、KGL ・上記形名以外で、銘板もしくはその近傍に不燃性油入と表示のあるもの

2. 絶縁油に低濃度(微量)PCB 混入の可能性のある形名（注2）

製造年	1952年～1990年
形名	KL-4、KL-4S、KL-5、KL-6、KL-7、KS-1、KS-2、KSG-1、KSG-2、KL-6M、KL-7M、KS-1M、CR、KUS、KUA、KOS、KAS、KBU、KBT、KU、KT、KT-1、KT-2、RHK、KP 上記以外の形名につきましては、お手数ですが弊社ホームページに記載の窓口へより、お問い合わせをお願いします。

3. 弊社出荷時点で、絶縁油に PCB は含まれていない形名(注3)

製造年	1991年以降の製品すべて。 及び1990年製の形名KU、CR についても、出荷時点では絶縁油にPCBが含まれておりません。
-----	---

(注1) 不燃性油(高濃度PCB)を使用している油入コンデンサの廃棄にあたりましては、法令に準拠した処置をお願いいたします。

※ 高濃度PCBは事業エリア毎に定められた期限を過ぎますと廃棄処分することができなくなりますので、早めの処置をお願いいたします。

<http://www.env.go.jp/recycle/poly/pcb-pamph/full18r.pdf> (環境省・経済産業省パンフレット)

古い油入コンデンサの場合、「不燃性油入」の表示が消えている、近傍の「不燃性油入」銘板が外れている可能性もありますのでご注意ください。

(注2) 廃棄前に絶縁油のPCB分析を実施していただき、法令に準拠した適切な処置をお願いいたします。

(注3) メンテナンス等でPCB混入の可能性のある場合は、廃棄前に絶縁油のPCB分析を実施していただき、法令に準拠した適切な処置をお願いいたします。

詳しくは下記の弊社ホームページをご参照ください。

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/environment/pcb/capacitor/index.html>

以上